

広報

Yasato
Public
Information

やさと

9

2001 No.555



稲架(おだかけ) - 葦穂地区 -

住みよい町へ 地域からの提案



八月二十八日役場会議室で、区長連合会主催による行政懇談会が行われました。各地区の区長会正副会長二十三名が出席し、住みよい地域をめざして各地区から提出されていた質問、要望事項についてそれぞれ町長をはじめ各担当課長からの回答・説明を受けました。

問 敬老会について

敬老会に配布する記念品の内容について再検討して欲しい。

答 保健福祉課長

この事業は、地区公民館を主体として、区長会・婦人会・地域のボランティアの方々にご協力いただき各地区ごとに運営されています。記念品の検討につきましては、各地区公民館の方へお話しただきまして、それぞれの地域の皆様が喜ばれるような方法をとっていただければと思います。

問 湯袋地区内の夜間暴走行為取締りについて

湯袋地区町道一〇六号での暴走行為は、夜間の交通規制後も相変わらずの状態です。地域住民の不安と苦渋は解消されておりません。早急に具体的な対策を講じていただけるよう切望します。



答 総務課長

平成十年九月一日から夜間午後十一時から午前二時までの四時間は「風返峠」から「国民宿舎つくばね」までの約三キロの区間は車両通行禁止の規制を実施しております。町としても、警察に規制時間の取り締まり強化を今後も引き続いて要望していきたいと思っております。

問 一の沢から十三塚への道路整備について

一の沢から十三塚に通じる道路があれば、観光地として一層充実すると考えられます。早期実現を切望します。

答 建設課長

町としても観光連絡道路として効果的な道路になると考えています。建設を実現するためには、地元の方々の協力が必要になります。今後、地権者の方々をはじめ、区長さん方の協力が得られれば、道路整備の早期実現に向けて円滑に取り組みたいと思います。

問 道路の側溝などの破損補修について

小倉地内の町道側溝の蓋が破損して補修されるまで十日間を要し、その間たいへん不便かつ危険を感じました。こうした補修に対し、速やかな対応をお願いいたします。

答 建設課長

以前は町に直営班がありましてすぐに対応できましたが、現在は皆さんから連絡がありましたところを、町の職員が現場を見て業者に発注をし補修をする方法をとっています。なるべく早く補修したいと思いますが、若干遅れる場合がありますのでご了承のほどよろしく申し上げます。

問 フルーツラインへのごみ集積所の設置について

フルーツラインには、いつも大量の空き缶が散乱しています。通行する自動車等のために、空き缶収集の場所を設けてはどうかと思っております。

答 都市計画課長

この件については難しい問題だと思います。管理がどこになるのか明確でないこと、車に乗ったままゴミの投げ込みがあつて、集積所周辺が散乱し迷惑がかかること。通勤途中などに家庭ごみを捨てる方がいれば、生ゴミが犬やカラス等に散乱させられ周辺に迷惑がかかることになります。このようことから設置はしない方針でございます。

問 上曾トンネルバイパスへの農産物直売所（道の駅）等の設置について

数年後に上曾トンネルが貫通し、バイパスが整備された場合大型農道との交差する地点に農産物直売所（道の駅）などの計画があるかどうかお伺いします。

答 農政課長

道の駅整備事業には該当しないと思っております。これに類似した施設でお答えします。平成十四年度に八郷町農協が流通センター付近に農産物直売所を計画しており

ますので、町としては特に計画は持っておりません。ただ将来、観光の案内所的な施設等の設置を検討していく必要があると考えております。

問 巡回バスの運行について

公共施設や福祉施設を利用する場合の交通手段が瓦会・恋瀬地区にはありません。お年寄りなどが週に一、二回でも各公共施設へ行くような巡回バスの運行を要望します。

答 総務課長

公的な要望として今回初めて伺ったのですが、今後住民の要望が強くなされたような場合は、新たな問題として考える必要があるかと思えます。新たな事業として取り進む場合には、投資的な経費と将来の利用度合い等を総合的に検討する必要があります。

問 防災無線の多目的利用について

地域に密着した情報として、お悔やみ放送を希望します。



答 総務課長

防災無線を開局する前と開局後にアンケートを行っております。これらのアンケート結果と町防災行政無線運営委員会で放送内容について審議された経過があります。

このなかでお悔やみ放送については、関係者には何らかの方法で連絡できること、公的な施設を使う必要があるのかどうか、亡くなられた家によっては希望しない方もいるなどの理由により、お悔やみ放送は流さないことになっております。従いまして今後も委員会の考えを尊重して同じ扱いになると思います。

問 林道・側溝へのごみ・空き缶・家電製品の不法投棄について

林道等への不法投棄が後をたちません。所有者が処理しようにも、限界があるうえ、危険をとまないと。また所有者が町外に在住している場合は、発見が遅れることも考えられます。一歩進んで投棄されないような改善策と、防止策の検討を願います。

答 都市計画課長

林道については、出入り口に扉を設け鍵を付ければある程度進入を防ぐことができると思いますが、昨年太田地区でダンブで扉を壊されて不法投棄された例もありまし

た。そこまでされると対策の施しようがないというのが現状です。土地の所有者、林道の管理者等の皆さんがそれぞれ協議して、よりよき対策を講じていただければと考えております。

問 各区主催の町道草刈等における傷害保険加入について

以前区主催の草刈りのとき事故がありました。今後もおこる可能性が考えられますので安全かつ効率的に実施するにあたり町で保険の加入が必要と思います。

答 財務課長

区の草刈りの実施中にけがをさせてしまったという報告がありまして、町でも検討し八月一日に保険に加入しました。内容については、五人以上で組織された方々が区の活動、町内会、地区の運動会、町の主催でない活動をする場合の賠償障害補償保険に加入しました。ただ政治・宗教・営利目的とした活動は除かれます。補償内容は、十分な額ではございませんが、地域の活動に何らかの補償ということで保険に加入しました。

問 国道三五五号バイパスと旧国道三五五号の交差点（東成井地内）への信号機設置について

部分供用開始にむけて土浦土木

答 総務課長

事務所と水戸土木事務所調整しながら県の公安委員会へ要望してあるとのこと。



問 新谷から團西間の通学路整備について

答 建設課長

早急の実施したい考えを持っており、予算が付き次第早急に実施したいと考えておりますが、区の転作の百割達成をお願いしたいと思っております。

問 草刈り等作業用燃料の支給について

答 建設課長

予算があれば支給したいと思っておりますが、財政事情が厳しい現状です。各区長さん方には昨年度から区の運営費を二百円増額し七百円になりましたので、その範囲内で協力願えればと思います。

問 戸の内内地内「美々美容室」

電の口までの整備について

答 建設課長

昨年より継続的に地権者にご協力要請をしているのですが、地権者に同意が得られない現状です。

問 青田地内道路改良について

この区間は関係者全員が同意しており建設課にも提出済みです。ぜひ改良工事をお願いいたします。

答 建設課長

関係者全員の同意というところでありますが、道路の切れているところの同意が得られていません。それをつなぐために地権者に三、四回伺ったのですけれども会うことができず、同意が得られていません。その同意があれば具体的にいき止まりの道ではなく、通り抜けできる道路になるということで地権者のご協力がなければ難しいという感じがいたします。なるべく通り抜けられる道路を作りたいと思います。





敬老の日

9月15日敬老の日に、各地区公民館が主催する敬老会が行われ、72歳以上のお年寄り男性1,628人、女性2,611人あわせて4,239人が招待されました。昨年より146人増えています。

町からは、80歳以上の1,658人の方に長寿を祝う座布団と敬老祝金が贈られました。

「敬老の日」は、多年にわたり社会につくしてきた老人を敬愛し、長寿をお祝いする日です。老人福祉についての理解を深め、その知識と経験を社会に役立てることに努めましょう。

町の最高齢者は、今年102歳になられた磯山たみさんです。

磯山さんが生まれた明治32年は、小説「伊豆の踊子」で有名な川端康成が生まれた年でもあります。

次に高齢な方は、アメリカの発明家ライト兄弟が、人類初の動力飛行に成功した明治36年に生まれ今年98歳になる方が、5人おられます。

以上の6人の方々には、町長から直接お祝いの座布団と祝い金が手渡されました。約1世紀を生きてこられた方々の笑顔を写真で紹介します。



町内最高齢者 磯山たみさん (瓦会)



廣瀬 眞さん (恋瀬)



中村 さくさん (小桜)



佐藤 ちとせさん (小幡)



萩原 かうさん (瓦会)

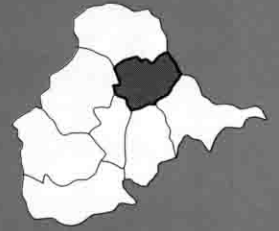


富田 市郎さん (小幡)

町内の長寿者上位100人

平成13年9月1日現在 (敬称略)

順位	氏名	(世帯主)	性別	年齢	地区	順位	氏名	(世帯主)	性別	年齢	地区
1	磯山 たみ	(初子)	女	102	瓦会	51	倉木 ゑい	(喜一)	女	94	柿岡
2	廣瀬 眞	(マリ子)	女	98	恋瀬	52	眞家 耕三	(彌太郎)	男	94	瓦会
3	中村 さく	(進好)	女	98	小桜	53	三輪 よし江	(一夫)	女	93	柿岡
4	佐藤 ちとせ	(正男)	女	98	小幡	54	萩原 みつ	(利榮)	女	93	柿岡
5	萩原 かう	(森一)	女	98	瓦会	55	岡野 時雄	(新吉)	男	93	園部
6	富田 市郎	(順一)	男	98	小幡	56	大圖 みき	(利男)	女	93	恋瀬
7	櫻井 ます	(和実)	女	97	葦穂	57	大槻 きよの	(篤)	女	93	園部
8	岡野 いち	(和夫)	女	97	瓦会	58	綿引 よし	(岩雄)	女	93	葦穂
9	山田 くま	(光夫)	女	97	小桜	59	瀧田 けい	(礼子)	女	93	柿岡
10	谷萩 貞次	(常雄)	男	97	葦穂	60	植田 あさ	(剛志)	女	93	林
11	江畑 みな子	(俊郎)	女	97	柿岡	61	友部 一郎	(敏英)	男	93	園部
12	櫻井 正	(安夫)	男	97	林	62	松岡 ミヨシ	(元義)	女	93	恋瀬
13	柘植 美恵	(仁)	女	96	恋瀬	63	田中 馨	(克己)	男	93	葦穂
14	羽生 きく	(彰)	女	96	小桜	64	田中 キクノ	(温)	女	93	葦穂
15	中村 九二	(榮太郎)	男	96	小幡	65	大塚 安國	(和美)	男	93	瓦会
16	吉川 よし	(克)	女	96	林	66	大宮 川とよ	(金一郎)	女	93	柿岡
17	小松崎 よし	(金一)	女	96	柿岡	67	富田 せい	(晴彦)	女	93	小幡
18	小松崎 ゆわ	(十二八)	女	96	小幡	68	上田 志よ	(照雄)	女	93	小桜
19	小坂 ふく	(豊)	女	96	葦穂	69	鈴木 みい	(みい)	女	93	小幡
20	高丸 ふぢ	(榮)	女	96	恋瀬	70	中川 ハル	(大内良雄)	女	93	林
21	宮川 金一郎	(金一郎)	男	96	柿岡	71	菱沼 なか	(弘志)	女	93	園部
22	島田 りき	(重雄)	女	96	瓦会	72	山本 たね	(來迎)	女	93	園部
23	飯島 ミノ	(ミノ)	女	96	葦穂	73	眞家 てう	(孝一)	女	93	瓦会
24	関 しな	(しな)	女	95	小桜	74	比氣 若之助	(良治)	男	93	柿岡
25	山田 やま	(嶋村壽彦)	女	95	林	75	吉田 はつ	(武夫)	女	93	林
26	萩原 ふち	(稔)	女	95	柿岡	76	萩ノ谷 文作	(浩史)	男	93	林
27	大槻 忠平	(利男)	男	95	園部	77	関口 徳重	(徳重)	男	93	林
28	飯塚 りう	(浩)	女	95	林	78	櫻井 武雄	(武雄)	男	93	恋瀬
29	菱沼 勘市	(む免子)	男	95	小桜	79	松延 ふつ	(茂)	女	93	小桜
30	平 テル	(寛治)	女	95	柿岡	80	廣瀬 雪枝	(隆晶)	女	93	園部
31	岡崎 志け	(忠)	女	95	小桜	81	中村 隆茂	(憲二)	男	93	小桜
32	田中 イチ	(剛榮)	女	95	園部	82	市村 つね	(和一)	女	92	恋瀬
33	吉澤 源壽	(源壽)	男	95	葦穂	83	鯉淵 はる	(市郎)	女	92	柿岡
34	岡本 富美	(浩史)	女	95	園部	84	伊藤 たつ	(武)	女	92	園部
35	菊地 こよ	(清)	女	95	柿岡	85	菱沼 よう	(久)	女	92	小桜
36	谷島 まつ	(洋司)	女	95	瓦会	86	細谷 よし	(信義)	女	92	柿岡
37	岡崎 きく	(幸一)	女	95	小桜	87	富田 福太郎	(利雄)	男	92	小幡
38	鈴木 才次	(利男)	男	94	恋瀬	88	仲村 しん	(浩)	女	92	瓦会
39	鈴木 木きよ	(央)	女	94	林	89	岡本 林太郎	(賢一)	男	92	恋瀬
40	磯 とき	(とき)	女	94	葦穂	90	今野 悦子	(悦子)	女	92	瓦会
41	宇田 邦一	(昭)	男	94	恋瀬	91	福澤 ユキエ	(計子)	女	92	林
42	足立 信次	(一美)	男	94	葦穂	92	助川 仲	(仲)	女	92	小桜
43	比企 みつ	(光雄)	女	94	瓦会	93	間 柚	(柚)	女	92	葦穂
44	福島 きん	(元一)	女	94	恋瀬	94	藤岡 まつ	(まつ)	女	92	恋瀬
45	小川 さき	(廣雄)	女	94	葦穂	95	岡野 よし	(よし)	女	92	葦穂
46	廣瀬 みつ	(和己)	女	94	小幡	96	藤岡 さの	(さの)	女	92	葦穂
47	小林 くま	(萬吉)	女	94	恋瀬	97	小松崎 志ほ	(一成)	女	92	小桜
48	小松崎 こう	(守雄)	女	94	柿岡	98	高崎 みよ	(伊平)	女	92	園部
49	海老沢 さき	(秀)	女	94	園部	99	小石川 つや	(進)	女	92	林
50	飯田 く	(利永)	女	94	葦穂	100	櫻井 きよ	(量一郎)	女	92	小幡



わたしたちのまちは わたしたちが守る

消防団員は地元の安全を願いながら、いざという時のために訓練をしています。毎年七月に町の消防操法大会が行われ、技術取得のために新人団員が選手に選ばれ、大会に向けて練習を積みまます。先月号の四分団に続き、今月号は瓦会地区Ⅱ五分団の紹介をします。五分団では操法大会の在り方などについて瓦会地区多目的研修センターで話し合いが行われました。



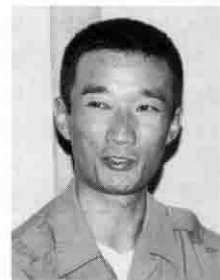
第5分団座談会

鈴木分団長 みなさん、お忙しいなかお集まりいただきありがとうございます。今日は五分団の抱えている悩みや考えを各部長・班長さんに話してもらい、今後の消防活動に生かしていこうということ座談会を開きました。まず始めに、五分団の中で話がでていると思いますが、町の操法大会のあり方について各部長・班長さんの意見をお聞きしたいと思います。

谷島部長 (一部) 操法大会については私も経験があります。続けることに関しては、賛成ですが、町の大会からさらに郡大会出場となると選手たちの負担も出てくると思います。昔のように郡大会は選抜で行うのが良いと思います。



谷島部長

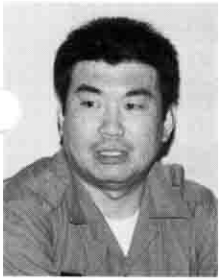


岡野班長

岡野班長 (一部) 操法大会は四年に一回必ずまわってきます。プレッシャーは感じますね。

杉山班長 (一部) 操法大会では地元の方たちから励ましの言葉をかけられます。そのときは本当にうれしいです。

藤井部長 (一部) 私は操法大会用の練習をしていないかぎり、実際の火事に対応できなくなってしまうと思います。操法にはそれぞれ一番員から四番員と役割がありますが、その役割全てができるような練習をしていけば良いと思います。
鈴木班長 (一部) 操法大会に出場したということは、団員の自



杉山班長



鈴木分団長 (瓦谷)

第五分団長 鈴木 米造

第五分団は自動車ポンプ二台、小型二台、四部隊五十二名の団員で消防精神を持って町民の生命・財産を守り、地域防災活動に努めています。各部で月二回の巡回をし、機械器具点検を行っています。現在、消防団員の確保が各分団でも悩みの一つとなっています。これから考えていかなければならない問題です。私たち消防団員は町民のみなさんに消防に対して理解を得てもらうため努力まいりたいと思います。そして多くの若者が消防団に入団されることを心から願っています。



藤井部長



鈴木班長



眞家班長



沼尻班長

信、やる気につながると思いますが、大会は必要だと思います。

広瀬部長 (三部) 大会については賛成です。新人団員が規律やホー

スの使い方などを覚えられますので。ただ選手を選ぶという点では苦勞しますね。プレッシャーなのでしようか。選手になるのは遠慮したいという団員もいます。

稲見班長 (三部) 同じく必要ですね。若い団員に覚えさせるには一番良い方法ですので。

眞家班長 (三部) 町の大会は団員の育成にもなりますので続けていってほしいです。仕事をした後の練習はきついなと思う時はありますが、応援に駆けつけてくれる方たちによって、その疲れも忘れてしまいますね。結果はどうであれ、大会が終わったときは、達成感を感じます。

島田部長 (四部) 大会を目標に操法の練習ができるのは良いことだと思います。いざというときに水出しができないと困りますので。ただ現実問題なのが大会に出る選手がなかなか見つからないことです。



廣瀬部長



稲見班長



島田部長



石田副分団長

沼尻班長 (四部) 操法の練習は体で覚えるのでやるべきだと思います。しかし団員にもサラリーマンが多くなってきたので、仕事

が時間どおりに終わらないこともあり、選手を選ぶのは困難です。団員の人选と確保が今後の課題でしょう。

石田副分団長 操法大会は私もたくさん経験しています。やればやっただけの価値はありますね。私が消防団に入団したころは町の操法大会があったのですが、しばらくして大会がなくなりました。大会がなくなってきたらというものは秋

季点検を行うと、団員たちが初期消火さえもできないのです。ひどい状態でした。町の大会がその後復活したのですが、それからは団員たちの技術は向上しています。大会に向けての練習は、大会で優勝するためだけではなく訓練の一環と考えて行つべきだと思います。

分団長 町の操法大会には賛成というみなさんの意見でしたが、郡大会は選抜に、といった意見も出ました。郡大会が選手たちのネットワークとなっているようです。これは

私たち五分団だけの問題ではないようです。今後の操法大会の在り方を検討する必要がありますね。

では、家族の消防に対する考えはどうでしょう。

副分団長 私の妻は、茨城町出身で、実家のあたりは自衛消防だったようです。結婚当初私は操法大会の練習に忙しかったころで、妻

には私になぜそんなに本気になってのか理解できないと言われていました。理解してもらうために消防団に入って良かったことや、消防活動について話し合つて妻を説得してきたわけです。

島田部長 家族の協力がなかったらここまで消防を続けることはできなかつたと思います。

分団長 家族を説得し、消防活動を理解してもらうことが一番大切ですね。それが団員確保にもつながるようです。どの分団でも団員の確保が問題になっているようですが、瓦会地区も深刻な悩みです。まずは団員の家族からです。これからもよりよい消防活動を目指し前進していきましょう。

五分団三部 山田 元さん(宇治会)

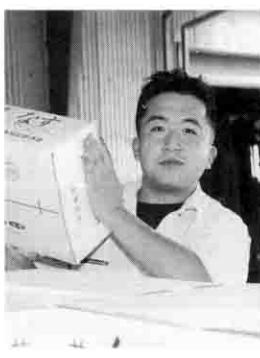
八郷町で有機農業をやろうと越してきて四年が経ちました。消防には近所の団員の方に誘われて入団し、今年で四年目です。入団する前は消防団と言われてもどういうものか、はつきり言つてよく分かりませんでした。私の生まれ育つたところでは自衛消防だったので消防団というものが身近になつたのです。消防団に入団してからは、たくさん仲間できました。仕事をしていてと畑のわきを車で通る団員が私を見てクラクションを鳴らしてくれます。最高にうれしいですね。



五分団二部 芝間 和重さん(瓦谷)

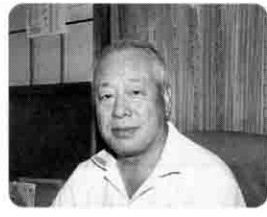
J A八郷小幡支所に勤め、野菜の生産指導販売を行つています。消防のほうでは今年、操法大会に出場させていただきました。五分団二部は操法大会の練習が二月からありました。大変だと思つて

もありましたが、二部は団員どうしの人間関係がすばらしいところですので、楽しかったこのほうが多いですね。四年後の操法大会では、おそらく私は指導の立場になつていると思います。先輩たちから教つたことを若い団員に伝えていきたいと思つています。



町民の声

瓦谷在住 谷嶋 昇さん



火事は目の前で何度も見たことがあります。子どもころ、雷が大木に落ちたのが原因で小屋が燃えてしまったことがあります。幼心にひどく衝撃を受けました。このような例をあげてみても自分では防げない火事もあります。消防団のみなさんには地元住民のため、ご尽力いただき感謝しています。これからも地元の防災啓発活動に力を入れてほしいと思つています。

先月号で、「紹介しました
「介護者のつどい」の横田ま
ささんの講演に引き続き、
今回は椎名道子さん（山崎）
の講演内容を一部要約して「
紹介します。」

私は八十二歳になる実家の母の
面倒見ています。母は平成五年に
胃がんの宣告を受け、手術をしま
した。手術は無事成功し、退院す
ることができました。それから一
年経つころにはお百姓ができるほ
どに回復し、私もほっとしまし
た。しかし、ほっとするのにつか
の間、今度は平成七年には脳梗塞
で倒れてしまったのです。意識は
はつきりしていましたが入院して
四、五日目には尿道炎で熱を出
し、意識がなくなっていました。ま
た、ICUに入り、二か月ぐらい
過ごしてしまいました。私はその
間毎日病院に通い、母の足をさす
ったり、おしりを拭いたりしまし
た。看病に疲れることもありまし
たが、母の顔を見ないと安心して
いられないんですね。

そして母も徐々に回復し、四か
月で退院となりました。その時は
左半身の麻痺が残っており、おう
どんを食べてもぶら下がってしま
う、おつゆを飲んでも口から流れ
てしまうという状態でした。おし
りのほうは大きいほうはできるの
ですが、お小水のほうはおむつが

必要になりました。母が退院する
とき病院の先生に「お母さんはこ
れからどうされるのですか。施設
に入られるのですか」と聞かれま
した。私は「いえ、家で面倒は見
ます」と答えると「よかったです」と
おっしゃられました。どういいう意
味が尋ねると「脳梗塞で倒れた方
が施設に入るとほげが早く出始め
る」ということでした。私も今に
なつてその意味が分かってきたよ
うに思えます。

私はある日大きな失敗をしてし
まいました。それはいつものよう
に母を洋式のトイレに座らせおむ
つを取り替えました。そして一、
二時間後にお昼を母と向き合つて
食べようとしたとき、母は赤い目
をして食べ物をじつと見るだけで
食べようとしないうです。「どう
したの。具合悪いの」と尋ねても
「何でもなし」と、か細い声で言
うだけでした。その日は結局お昼
を食べずじまいでした。そして

「二、三日経つて私は母に「あのと
きどうしてご飯食べなかつたの」
と聞いたところ、思っても見ない
答えが返ってきました。「あの日
おむつを取り替えたとき、あんな
私をくさいくさいと言ったでし
よ。年寄りには年寄りのプライド
があるのよ。もうくさいくさいっ
て言わないでちょうだい」。もう
言葉も出ませんでした。何度も誤

り、母と抱き合つて泣きまし
た。最後に母は言いました。「分
かってくれればいいのよ。もう言
わないでね」と。それからトイレ
にはパンツと尿取りパットと古新
聞をきんちゃくにに入れて母の取り
やすい場所に下げて置いていま
す。母にはなるべく手を負さない
ようにしています。できることは
自分でしてもらおう、突き放すこと
も大切ですよ。そしてお互いに冗談
を言いながら、おしりの話には触
れないようにしています。

私は二十歳のころから特定疾患
の難病を抱えています。薬のおか
げでこうして元気でいられる、母
の介護ができるということとはとて
も幸せなことだと思っています。
また、私は自分に負けないよう
に、時どき母や主人にもきつと言
葉を飛ばします。それは自分への
渇です。

母の介護をしてきてあんなに小
さくなってしまひてしまつてもこ
うして生きている命の重みをしみ
じみと感じます。ですからみなさ
んも決して負けないでください。
頑張れば何とかなるんです。介護
もそうだと思います。あまり神経
質にならないで、なるようにしか
ならないのですからその時その時
を大切にしていってください。
そうすれば一日一日がながりま
す。そうして一年が流れ、二年が

流れる…人生つてそういうもの
だと思えます。明るく楽しく
日々を過ごせたらすばらしいと思
います。助けていただいたり、助
けたり、はげまし合つてこれから
も自分に負けないで、自分の体を
大切にしながら母とともにがんば
つていきたいと思っています。

65歳以上の方 は介護保険料が 本来の保険料に 戻ります

本年10月から

平成十二年度および平成十三年
度前半の一年半の間は「特別対
策」により六十五歳以上の方の介
護保険料が国から助成されていま
した。（下の図を参照）

本年十月からは特別対策が終了
しますので、本来納めていただく
べき保険料額に戻ることになりま
す。

問い合わせ先

新治地方広域事務組合

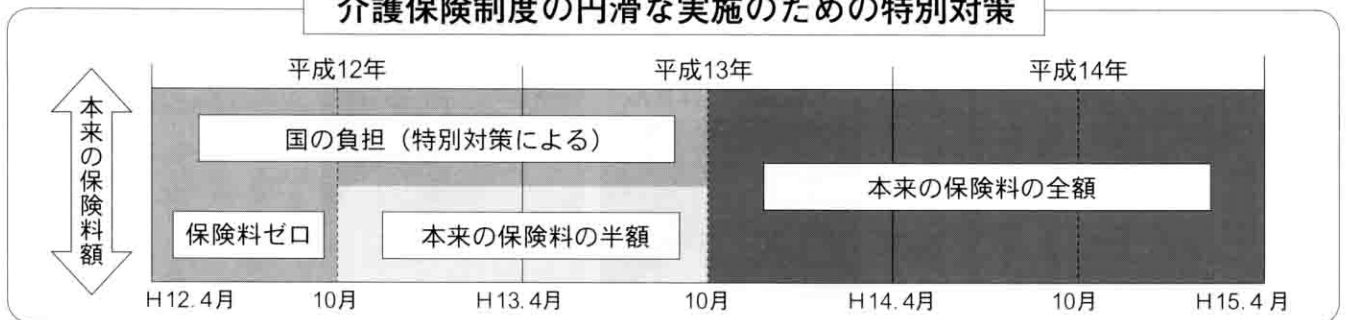
介護保険課

TEL 五九〇五〇五

役場保健福祉課

内線一四一

介護保険制度の円滑な実施のための特別対策



部原の板垣さん世界で5位

スペインのアンダルシア地方を会場に、ハンググライディング世界選手権が6月17日から30日まで行われました。日本チームからはクラス1に6人、クラス2に4人が出場しました。

今回はクラス2に出場し、5位入賞というすばらしい結果を残した八郷町在住の板垣さんが世界選手権のもようをつづってくださいましたのでみなさんにご紹介します。



世界選手権（クラス2）で五位入賞を喜ぶ板垣さん。

2001ワールド・エアゲームス イン ス페인に参加して

部原 板垣直樹

日本は梅雨真っ盛りの六月十七日から六月三十日の日程でスペイン・アンダルシア地方・アルゴドナレスで「第二回ワールド・エアゲームス」が行われました。

ワールド・エアゲームスとは現在、オリンピック種目になっていない、各スカイスポーツを一同に、四年に一度開かれる国際大会です。参加種目はハンググライダー・パラグライダーを始め、グライダー、熱気球、スカイダイビング他、全十一種目で全世界から多くの選手が集まって行われています。このワールド・エアゲームスに日本からも多くの選手が参加しました。ハンググライダーの日本代表チームは選手十名から構成されていますが、内五名が茨城県在住者で、更にこの内の二名は八郷在住の私、板垣直樹（部原）と大門浩二です。ここ八郷町は日本のハング・パラグライダーの中心地と言っても良いほど盛んで、地形、気象条件共に良く、更に都心にも近い立地条件は国内随一と言っても過言ではありません。そんな八郷町に住み、スカイスポーツを楽しむ人が近年増えています。私（板垣）もその一人で、八郷に住み、

十一年になります。

世界選手権大会でもあるこの大会は、競技日十三日間の長丁場で行われます。そのため競技はフライト技術だけでなく、体力、気力も要求される厳しいものです。しかし、今回はあまり天候に恵まれずに、六本（六日）の競技がキャンセルとなりました。

ハンググライダーの競技は、気象条件（風向き等）に合わせ、その日のタスクを決めます。今回のエリアでは毎日八十キロから百三十キロ程の距離が設定され、その中の一個から五個の決められたターンプイントを通過していき、ゴールまでの速さを競います。

ここ、アルゴドナレスは比較的日本に良く似たフライトコンディションでしたが、連日四十度近い暑さや、慣れない環境に日本チームの成績は伸び悩みました。そんな中で私自身は初日に三位につけましたが、中盤成績を落としながらも、総合五位入賞で終わることができ、日本人としては過去最高位をおさめることができました。

来年はアメリカで世界選手権が、また四年後にはスロベニアでワールド・エアゲームスが行われる予定です。多くのパイロットたちとともに、私も八郷の空を飛び、次回もっと上位をねらいたいと思います。

花と緑の楽園
茨城県 フラワーパーク

秋そば 収穫祭



昨年のそば打ち体験教室

「花と緑の楽園」茨城県フラワーパークでは「秋そば収穫祭」を開催いたします。

開催期間 十一月二十三日（金）

十一月二十五日（日）

期間中の催し物

「そば打ち実演試食会」

十一月二十三日（金）十一月二十五日（日）

十一月二十五日（日）

十一月二十五日（日）

十一月二十五日（日）

十一月二十五日（日）

十一月二十五日（日）

十一月二十五日（日）

十一月二十五日（日）

十一月二十五日（日）

十一月二十五日（日）

十一月二十五日（日）

十一月二十五日（日）

十一月二十五日（日）

十一月二十五日（日）

十一月二十五日（日）

「そば打ち体験教室」（有料）
十一月二十三日（金） 十一時～十四時
フラワーパークで収穫した新そばを材料に来園者にそば打ちを体験していただきます。

「盆栽展」
十一月十八日（日）十一月二十五日（日）
八郷盆栽会のみなさまのすばらしい盆栽を多数展示いたします。

「その他のイベント」
「八郷町観光果樹組合収穫祭」
十一月二十三日（金） 十一時～十四時（餅・とん汁無料サービス）
開園時間は午前九時から午後五時までです。（入園は午後四時三十分まで）
詳しくはTEL〇二九九一四二一四二一まで。

「新そば粉即売（石臼ひき）」
そばのパネル展示
丸太切り大会
柿の種飛ばし大会
昔遊び
竹とんぼ飛ばし他、竹細工体験

「そば打ち体験教室」
十一月二十三日（金） 十一時～十四時
フラワーパークで収穫した新そばを材料に来園者にそば打ちを体験していただきます。

八郷の巨樹・老木 (29)

大和田家のエンジュ

杉や樺の木立に囲まれた静かな屋敷の中央に母屋、その右手に離れが建つ大和田家。

樹齢七百年のエンジュは門の脇に幹周五・二畝の巨体で立っていた。幹の太さといわば老樹の風格といい、これがエンジュかと驚かされる巨木である。

鎧のような堅く荒々しい樹肌が重ねた星霜を物語っている。地上五層ほどのところから伸びた瑞々しい三本の枝がこの樹の樹命を支えているようだ。

幹は空洞になっているが、佐久の大杉も八坂神社の樺もそうであるように、このような第一級の巨樹・老木には大抵大きな洞(うづ)ができていく。樹は成長期には天に向かつてぐんぐん幹を伸ばし、壮年になり幹や枝を太らせ、老齢期に入ると無駄な幹や枝を自ら枯らして延命を図るといわれる。生きるための必要最小限のものを残し、省エネ生活を続ける。老木に共通する延命術といおうか……大和田家のエンジュもまさしくそのような容態をさらしながら生き続けようとしている。

数年前まで、渡り鳥のアオバズクが洞に巣を作り住まいとしてい

たそうだ。毎年、青葉の季節を迎える頃、アオバズクはエンジュを

目指しはるばる飛来し、うろに営巣して雛を育てた。そして冬の訪れを前に、再び東南アジアを目指して帰って行った。

ホッホー、ホッホーと夜のしじまに鳴き声を響かせる数羽のアオバズクの写真が残されており、その様子を今に伝えている。

エンジュは中国原産の落葉高木で、七月八月に黄白色の蝶型の花を咲かせる。花の盛りは、まるで米粒を撒いたように庭一面が白くなるそうだ。『せひ見ていただきたかった』とご夫人の静子さんは残念がる。

一般にエンジュは床柱の用材として知られているくらいだが、中国ではエンジュ(槐)を尊貴の樹として尊ばれた。周の時代、朝廷の庭に三株のエンジュを植え、これに面して太師、太伝、太保の三公が座つたので、三公の位を槐位(かいい)、また大臣になることを任槐(にんかい)といった。このようなことから高位高官についた

ときや退官し、念を植えることが行われるように



所在地 東成井六五二
樹種名 エンジュ
《マメ科・クララ属》
管理者 大和田正典
胸高周 五・二畝
樹高 一五・八畝

なったという。東成井村の庄屋を努めた旧家、大和田家の庭にエンジュが植えられた由来について思い巡らすことも興味深い。

ご夫人の大和田静子さんは八郷町芸術展「八郷の作家三人展」に出品された日本画家である。幼少期を龍ヶ崎で過ごし、東京の有名病院での婦長を辞し、八郷に嫁がれてから幾歳月、婦長から主婦への転身が、打ち込める何かを求めさせ、ひたむきな創作活動へ駆り立てたようである。小林恒岳画伯に師事し、上野の新興美術展の出品を手始めに、個展だけでも十一回という活躍ぶりだ。人生、一生勉強・日本画に精進する姿は、まさに生涯学習のお手本を示されている。

『どなたにも絵心はあるものです。描かせる環境が作品を生み出すのではないのでしょうか』とご主人に目をやりながら、今日も静かに絵筆を走らせている。樹齢七百年のエンジュに見守られながら、やさしく巨樹の会会長 小林文男

最近気になる病気

スポーツと水分について

石岡市医師会病院
内科 川又 忠医師



スポーツの秋がやってきました。快適な季節ではありませんが、夏の炎天下ほどにはないにせよ、スポーツをするときには多くの汗をかきます。大量の汗をかいて適切な水分補給が行われないと、脱水症状におちいり、熱中症という状態になってしまいます。熱中症は熱疲労、熱けいれん、熱射病の三つに分けられます。熱疲労は脱水による症状で、脱力感、倦怠感、めまい、頭痛、吐き気などがみられます。熱けいれんはたくさん汗をかいたとき、水だけを補給して血液中の塩分の濃度が低下したときに、筋肉の痛みを伴ったけいれんが起きます。熱射病は熱中症の中でもっとも重症で、体温上昇のため中枢神経に異常をきたした状態で、意識障害を起こして死亡することまであります。では熱中症を予防するためには、どのように水分補給をすればよいのでしょうか。一昔前にはよく「練習中に水を飲むな」とか「水を飲むと疲れる」

とか言われたものです。しかし現在ではこのような考えはまったく非科学的なことであり、生命の危機を脅かすことさえもあるといことが常識となっています。熱中症を予防するためには水分の補給を十分に行う必要があります。のどが渇いたと感じたときにはすでに脱水が起きています。運動開始の十五分から三十分前にコップ二杯程度、運動中には十五分から三十分ごとにコップ一杯程度の水分を補給しましょう。また、汗からは同時に塩分も失われますので、水分の補給には〇・二割くらいの食塩と、三割から五割の糖分を含むものを勧めます。そういった意味で市販のスポーツドリンクが適していると思われれます。なお、熱中症を防ぐためには、水分を十分に補給することに加え、直射日光をさける(帽子を着用する)、熱を逃がしやすい通気性の良い服装にする、体調の悪ときは無理に運動をしないといった注意も必要になります。正しい知識を持って、スポーツを楽しんでください。

八郷の歴史 (6)

環境変化の中の民俗学

昭和四十六年に「茨城県民俗分布図」作成のため柴間（園部）、中戸（恋瀬）、上青柳（小幡）、小野越（小桜）の調査をした。当時、全町で太陽暦を使うようになり、旧暦で行っていた行事が、完全に姿を消し、一月十一日の鍬入り、門松なども行われなくなっていた。

農家では米が豊作になるかどうか、一番大切なことで早魃を一番恐れた。そうなる前に雨乞い行事を行った。若者が太鼓をたたきながら、鎮守にはやし込み、降雨の祈願をした。とくに、加波山に代参を立てることもあった。その効果があれば「おしめり神事」になり半日の休みがもらえた。

以前は田植の行事に「植え初め、植えあげ」があつて、いずれも各戸、赤飯をふかしたり、餅やうどんを作つて、慰労の食事をした。田植が大体終わると「さなぶり」といつて半日の休み、全部終わると「総仕舞」といつて、半日の休みがあり、うどんを作り、手伝つてくれた家に配つた。田植えは大抵、旧五月五日頃から始め、五月いっぱいはいはかつた。

一番最後まで残つた家を「ナアバサラエ」といい、陰口された。ナアバとは田の代かきに用いる「シロミサクラ」のことで、田植えが終われば不用になり、川へ流していた。因みにかつては、結（ゆい）という相互に手伝い合う習俗があつた。

つた。
旧十月十日は亥の子の餅である。この夜、子どもたちが、芯に里芋の茎を入れ、縄で固く巻いた棒を持つて、各家を回り、そこで庭の面を打つ。最初、モグラを追い払うためのものであつた。

尊、百万遍塔と並んで十二人供養塔が二基並んでいた。いずれも高さ一メートル、幅八十センチほどのものである。一基には仏舎の形と十二人の姿が刻んであり、もう一基の右側に「秩父坂東巡拝四国」、中央に「左あたご道」、左に「同行十二人〇建」と刻んである。年代は不明である。参拝記念塔なのだが、この石塔にはいわれがあつた。

「十月十日の餅おくれ、餅がなければゼニおくれ、大麦あたれ小麦あたれ、三角バツタそばあたれ」
大地をワラ棒でたたきながら、繰り返ししている。家々から用意の餅を二個ぐらいずつ、分けてくれる。子どもたちはその餅をためて、餅をつかない家へ売つて、小遣いをかせいだ。

この村人十二人が四国八十八か所巡拝に出かけたまま、何年経つても帰つて来なかつた。その子どもたちは、何か事故があつて死んだものと判断し、秩父、坂東、四国の零場を巡拝し、死者の冥福を祈つた。そして、帰宅後、この石塔を建てたと伝承されている。時代は天明の頃ではないかともいう。

ムラにはたたくさんの石仏や石塔があり、それぞれ何かしら言い伝えがある。今は枯れてしまつたが、調査時、有明の松があつた。その松の下に二十三夜塔、馬頭

町史編さん専門委員 民俗・今瀬 文也

わたしの手料理

スタミナ肉しゃぶ



食生活改善推進員 阿部 智子（東成井）

【材料】（4人分）

★豚薄切り肉 280g ★酢 大さじ1
★サンチュ 10枚 ★玉ねぎ（小玉）1ヶ（スライスし、水にさらししぼっておく）★ミニトマト 10ヶ ★まいたけ 100g（さつとゆでてタンザク切り）★アサツキ 少々（小口切り）※アサツキの代わりに青ねぎや青じそでもおいしくいただけます。

【作り方】

①熱湯に酢を入れ、肉をゆでる。
②皿にサンチュをひき、玉ねぎスライスを中央に盛り、ゆでた豚肉をのせ、ミニトマトとまいたけをあしらう。
※たれは市販のごまだれや中華風ドレッシングなど、お好みでお召しあがりください。



わが家のアイドル

下林

岩 瀨 莉 奈 ちゃん

平成10年12月3日生まれ
父 一広さん 母 まゆみさん
★家族からの一言

はすかしがりやで負けず嫌いな女の子です。踊りながら歌を歌い、家族を楽しませてくれます。最近はお手伝いをしてくれるようになりました。元気で優しい子になってほしいですね。

全問正解者のなかから
抽選で図書券が当たるよ

広報クイズ 162

3つの答えの中から正解を選び
ハガキに書いて送ってください。

①8月28日に行われた区長連合
会行政懇談会には区長会正副会長
合わせて何名が出席しましたか？

A-23名 B-28名 C-30名

②平成13年9月1日現在で、八
郷町の100歳以上のお年寄りは何
人？

A-1人 B-3人 C-5人

③今年行われる全国女性消防隊操
法大会はどこで行われますか？

A-千葉県浦安市 B-東京都八王
子市 C-神奈川県横浜市

〔応募の方法〕

☆ハガキに広報クイズ162と書き、
答えの記号（例1-A）、住所、氏
名、年齢、世帯主と「私もひとこ
と」へのご意見や広報の感想など
を書いて送ってください。イラスト
やマンガも大歓迎。

☆全問正解者のなかから10人に、
図書券をプレゼントします。

☆締切日 平成13年10月22日
（当日消印有効）

☆応募先 〒315-0195八郷町柿
岡5680-1 八郷町役場秘書広聴課

☆当選者の発表 本紙11月号

〔広報クイズ160の当選者の発表〕

正解は1-A、2-B、3-Cでした。
応募総数36通、正解32通の中
から次の10人が当選しました。

飯村初枝（山崎） 市村志つ（小見）
入江悠（大増） 上田恵美（根小屋）
田口ふみ（片野） 土佐一成（吉生）
友部奈津美（太田） 成田恵理（小
幡） 仁平洋子（小幡） 藤崎輝（真家）

〔敬称略〕



P.N 奈月 佐久羅



月岡 萩原志づ



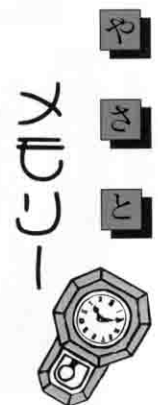
P.N 水無瀬 侑英

●やさと文芸

俳句	俚謡	短歌
梅雨明も近く退院近きかな 握りみて今年の稲穂重々と 強き風去りて安堵や豊の秋	のびた鼻緒の宿下駄はいて出れば素足に芝の露 子等と一緒に郷土の歴史迎る足跡夏休み 昔気質の老婆の足に残る律儀な座り胼	百までをお風呂で覚えた話して孫は背中を流してくれる 登りきて視界開けた山間に向日葵ぞつくりまつ盛りなり 煌々と提塔連ねし盆踊り広き校庭一夜賑はふ
部原 染谷 和夫 柿岡 川井 寛 瓦谷 山崎 景子	下林 白田 正源 下林 白井 富喜江 下林 小野瀬 午風	大塚 誠選 月岡 萩原 照子 山崎 荒井 弘子 吉生 土佐 信司 綿引 鼓峰 選



八郷町青年のつどいの不要品交
換会の一コマ。今主流のフリー
マーケットです。（昭和五十年当
時）



「まち」の話「題」で「き」ごと

身近な出来事や地元の話題をおよせください
(連絡先: 秘書広聴課 宮内線一三四三)

差別のない世の中へ

八月十七日、中央公民館を会場に同和
教育研修会が行われました。

これは、少年による凶悪犯罪や、家庭
内での親による虐待が後を絶たない現代
社会の中で、自分たちの生活を振り返り、
人権について考えていただくこと行われ
たものです。

研修会には、早稲田大学教授、数学者
ジャンクラーとしておなじみのピーター・
フランクル氏を講師に迎え「ワタシは一



体ナニジンなんだろう」と題する講演が
行われました。講演では、フランクル氏
が実際に受けた差別について語られ「差
別をする人は自分に自信がないからです。
自信を持つためには、何か一つのこと
打ち込むことです。自信を持つてくださ
い。そして自分の人生を大事にし、充実
した人生を送ってください」と会場に投
げかけました。

みんなでわいわい楽しかったね

八月二十五日と二十六日の二日間、恋
瀬地区子ども会育成会主催、青少年を育
てる八郷町民の会恋瀬支部後援によるサ
マーフェスティバルが恋瀬小学校グラウ
ンドで行われました。

これは「元気でたくましい子どもたち
を育てる活動」の一環として恋瀬小全児
童を対象に行われているもので、今年で
四回目になります。

当日は児童と保護者、関係者合わせて
百九十六人が参加し、初めにテント張り、
続いて木工細工を行いました。

木工細工では、親子で力を合わせなが
ら小鳥の巣箱を作ったり、本立てを作つ
たりと悪戦苦闘してる姿も見受けられま
した。夕方になると夕食の準備。メニ
ューはカレーライスと焼きそばです。子
どもたちは出来あがったカレーライスや焼
きそばに舌鼓を打っていました。食事の
後はレクリエーションやグラウンドでの
映画鑑賞などを楽しみました。

大人と子どもが共に楽しんだサマーフ
ェスティバル。夏休みの楽しい思い出と
なったようです。



村明細帳さがしています

町史編さん室では、現在江戸時
代の田畑の調査書を集集して、平
成十三年度末に史料集を作りたく
と計画しています。多くの方々の
ご協力により、五十点ほどの「村
明細帳」が見つかり、それをまと
めているところです。

史料集として発刊するためには、
八郷町全地域の史料を載せなけれ
ばなりません。現在村明細帳の調
査しておりますが、なかなか見
つかりません。町内の方で持ち
の方がありません。借用したい
ので、ご協力いただきたいと思
います。役場町史編さん室TEL四
三一一一内線一一七〇までご
連絡ください。



→ 村明細帳



書道コンクールで柿中の飯村さんが受賞

毎日新聞社主催による「第三十回学生書道コンクール」で柿岡中三年の飯村翠里さんが中学生・高校生の部で毎日新聞社賞を受賞しました。

同賞は、各部門一名ずつ選ばれる文部科学大臣奨励賞に続いての賞で、各部門に出されている課題ごとに一名ずつ表彰されるものです。コンクールには三万七千点が出展され、茨城県からは三千七百四十二点もの出展がありました。飯村さんは小学三年生から書道を習い

始め、今年で七年目です。「思うように

書けないときは、四時間でも五時間でも納得がいくまで書きつづける」とのこと。また飯村さんはバレーボールで茨城県選抜として選ばれており、週に一回強化合宿を行っています。スポーツや書道、勉強にと忙しい毎日です。

「書道はこれからも続けていきたいです。好きで始めたことですので」と話す飯村さん。はつらつとした表情が印象的でした。



きせる祭りで来年の豊作を祈願

九月五日にきせる祭りが行われました。これは加波山神社（大塚）の境内神社であるたばこ神社の祭礼で、たばこ耕作組合が中心となつて行っているものです。最初に山頂入口の加波山神社で、長さ二・六メートル、重さ六十キロのキセルにきざみ

こした火を着火。ほら貝の合図で耕作者のみなさんがこのジャンボキセルをかついで山頂のたばこ神社を目指して出発しました。山頂まで約二百メートルの険しい道が続き、キセルを運ぶみなさんの額には汗がにじみました。山頂では奉納の儀式が行われ、来年の豊作を祈願しました。

空を飛んだ気分は？

八月二十四日、八郷町観光協会主催によるパラグライダー体験が、小学五年生、六年生を対象に八郷町オートキャンプ場多目的広場を会場に行われました。参加した小学生は十八人で、パラグラ

イダーのキャノピーの立ち上げからテイクオフ、直線飛行、ランディングまでを体験。最初は緊張した表情も、何度も挑戦するうちに笑顔に変身。歓声をあげながら楽しいひとときを過ごしていました。



フラワーパークオリジナルお便りセットのご利用を

八郷町内郵便局では、フラワーパークの春バラまつり・秋バラまつりの期間中、園内に記念切手等を販売する臨時出張所を開設しています。出張所ではフラワーパークの写真入りカバーを使用した「お便りセット」と記念切手を組み合わせて販売しています。お土産として、ご家庭でのご使用にも「フラワーパークオリジナルお便りセット」をご利用ください。



オリジナルレターセット

編集室

全国女性消防操法大会に出場する八郷町婦人消防隊の訓練を取材しました。「大会が終わって泣けるくらい練習をがんばりたい」と代表の富田恵津子さん。真剣に取り組む姿を見ながら、思わずカメラを持つ手に力が入りました。（且）

町の
フレッシュ
ウーマン

八郷町婦人消防隊

最高のチームワークです

十月十八日に「第十五回全国女性消防隊操法大会」が、横浜市の消防訓練センターで行われます。

わが町からも選ばされた八郷町婦人消防隊のみなさんが大会に出場する予定です。大会が近づくにつれ、週に一回八郷消防署で行う操法訓練にも気合いが入ります。今回、代表の富田恵津子さん（小幡）から大会にむけてのお話をいただきました。

はじめは悩みました

婦人消防隊の話をいただいた時は正直言って悩みました。うちの主人も消防団員で、操法大会の練習を私自身も見てきたので、私に果たしてできるのかなど自信がなかったのです。でも、一生に一度と思うとやってみたいと思うようになってき



富田恵津子さん

ました。そして、主人の理解があったおかげで消防隊に入らせていただくことになったのです。

一生に一度の思い出づくり

町の消防団の操法大会が年に一回行われますが、このときは団員の奥さんたちも応援に精を出します。私が住む小幡地区は、奥さんどうしがまとまっています。操法大会のために洋服をそろえたほどです。実は婦人消防隊のみなさんは、この奥さん仲間なんです。だからと言ってすぐにチームがまとまったわけではありません。仕事をもち、子どももいるので練習はきつい



操法訓練の様子。みんな真剣です。

と感じていたと思います。しかし練習をしていくうちに二生に一度の思い出づくりだよ」と言いながら今ではお互いが何でも言い合える関係になりました。

泣けるくらいがんばろう

全国女性消防隊操法大会もあわずかです。やるからには一杯力を出し切りたいですね。大会が終わったらみんなで泣けるくらい、やったという実感がほしいです。そのために、練習に練習を重ねていこうと思っています。

統計調査にご協力ください

企画開発課 内線一三三二

統計調査は、各行政区ごとに選ばれている統計調査員さんに調査表の配布や取りまとめをお願いし、調査対象となる事業所やご家庭に協力いただいております。

去る六月七日に町内各地区の統計調査員によって組織されている、町統計調査員連絡協議会の総会が開催され、次の皆さんが新役員に選ばれました。

会長	田中克己	大字小屋	理事	永瀬 勇	大字宇治会
副会長	岡崎和雄	大字下林	同	谷島幹雄	大字瓦谷
同	関浩太郎	大字片野	同	鶴井金次	大字真家
理事	滝田 伸	大字柿岡	同	土師重信	大字真家
同	広瀬桂一郎	大字須釜	同	増田英雄	大字下林
同	今橋 隆	大字小幡	同	関 茂利	大字半田
同	菊地 一郎	大字吉生	同	小林久義	大字月岡
同	宇田静吾	大字大塚	監事	大槻元夫	大字東成井
同	吉田重信	大字中戸	同	本岡利男	大字吉生

(敬称略)

統計調査のデータは、行政施策の企画立案、計画策定などのため
の貴重な資料となります。

今年度、国からの委託統計として実施される主な調査は、次のもの
があります。

調査名	調査期間	調査対象
事業所・企業統計調査	10月1日	農林魚家を除く全ての事業所
工業統計調査	12月31日	製造業を営む事業所
商工業石油等消費構造統計調査	12月31日	卸売業・小売業・鉱業・製造事業所

調査期日の前に、統計調査員さんが調査票を持って伺いますので、よろしく願います。